

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成26年5月8日 NO.6

広島・長崎被爆体験者を講師としてお迎えします（今週末の学校公開）

5月10日（土）国立第七小学校では、学校公開を行います。今年度初めての学校公開です。多くの保護者・地域の皆様のご参観をお待ちしておりますので、よろしく願いいたします。

今回は、上記にもありますように、広島・長崎で実際に被爆された経験をもつ『国立さくら会』の桂茂様・平田忠通様を講師としてお迎えし、お話を聞く会を実施します。お二人とも今までに国立市の公民館や他市などで講演会等を行ってきたそうであります。実際に学校で児童を前にしてお話していただけることはあまりないそうですが、このような機会にご来校頂きお話をして頂けることに、心より深く感謝いたします。なお、今回の授業の対象学年は6年生であります。

本校では5・6年生を中心に、平和教育の一環として、児童に正しい歴史認識と平和の意味や戦争の悲惨さを知る機会にしたいとの思いで実施することにしました。今後も計画的に継続的に行って参りたいと考えております。なお、10月25日（土）にも5年生対象で、桂様・平田様にお話を頂く予定ですので、お知らせしておきます。

戦後も約70年という月日を数えますが、その悲惨な歴史を風化させてはならないと常々感じております。国立市平和宣言にもあるように、次世代の人々が永遠の平和を築くためにも、この貴重な機会に保護者の皆様も是非ご参観下さいますように重ねてお願いいたします。

**5月10日（土）午前9時25分より、3階視聴覚室（一番東側）行います。
（6年生以外の保護者の皆様も是非ご参観下さい）**

朝の『おはようございます！』

朝は一日のはじまりであり、朝のあいさつほど大切なものはないと思います。また、気持ちよいものはありません。各ご家庭でも地域でも『おはよう』のあいさつがあることは、素晴らしいことだと思います。昨年度に比べ、今年度は『あいさつ』がよく行われていると多くの方々から言われており、たいへん嬉しく思っています。相手の目を見て、しっかりとした大きな声で、ちょこんと頭を下げて、あいさつしてくれる児童の姿に心から感心しています。『あいさつ』は漢字で『挨拶』と書きますが、『挨』には自分の心を開くという意味があり、『拶』には相手に迫るという意味があるとされています。朝の気持ちのよい挨拶は一日のよいスタートにもなると思っています。

さて、本年度より着任された用務主事の箕輪秀夫さんと岡村啓司さんは、毎朝校門を開けてくれますが、その後も校門で児童と挨拶をしてくれています。すると、そこに登校してくる低学年の子ども達もそのまねをして、用務主事さんの隣に立ち、元気に『おはようございます』とあいさつをしています。とても大きな声で元気よく、すがすがしい気分となり、明るいその姿は、第七小学校の元気の良さを象徴しているようでもあり、大変微笑ましく感心しています。きっと、ご家庭でもしっかりと挨拶ができているのだらうと思いました。

さあ！『学校が楽しみだ！』という思いで登校して来る子ども達。そんな児童の思いを大切にしながら、また明日からも『おはようございます！』の声かけをしていきたいと思っています。